

2023年
秋号



こどもの注射嫌いが治る？

注射の痛みを軽減する為の冷却パック

「ぷにゅ蔵くん」が発売されました！



詳しくは
P2へ

しおかぜ通信55号 Topics

- | | | | |
|-------|-----------------------------------|--------|---------------|
| P 2 | 「注射の痛みを和らげるプニゅとした手触りの冷却剤を製品化しました」 | P 6～7 | 患者教室のお知らせ |
| P 3 | 「臨床グランプリ」で、当院の総合内科・感染症科チームが優勝しました | P 8 | 100周年を迎えます |
| P 4～5 | 遺伝カウンセラーのお仕事 | P 9～10 | 病院内施設のご案内 |
| | | P11 | 寄付のお願い |
| | | P12 | かかりつけ医を持ちましょう |

「注射の痛みを和らげる プニュっとした手触りの冷却剤を製品化しました」

小児科・新生児科 医長 ^{おか}岡 ^{ふじ}藤 ^{いく}郁 ^お夫

子どもたちは小学校入学までに、最低22回ものワクチン接種を受けます。痛みの感じ方は一人ひとり異なり、静かに耐え忍ぶ子どもから、注射が苦手で大泣きする子どもまでさまざまです。注射を嫌がる子どもを病院に連れて行く親もストレスです。この子ども時代の辛い記憶は、大人になってもなかなか消えず、病院を嫌う原因になることもあります。その結果、必要なときに受診を避ける行動をとり、健康に影響を及ぼすこともあるのです。私は、小児科医として、注射の痛みを少しでも軽減するために、ビニール手袋に氷水を入れて注射する予定のところを冷やすなど工夫を行ってきました。そんな中、2019年春、神戸医療産業推進機構のイベントで「医療ニーズの会」が開催され、医療従事者のニーズと企業の製品開発力を結びつける新しい取り組みが行われました。そこで、私たちは注射の痛みを軽減する製品の開発を提案しました。

そして、子供たちが喜ぶようなプニュっとした手触りの、冷凍しても固まらない柔らかい冷却剤を提供するメーカーが協力を申し出てくれたのです。これがプロジェクトのスタートでした。コロナ禍の中、試作品を作り上げ、使用感を聞きながら、いくつかのクリニックと協力して、注射の痛みが実際に軽減するかを評価して、効果を確認することができました。

そしてこの7月、この新製品「ぷにゅ蔵くん」が発売となりました。注射する予定の部分に1分間ほど当てるだけで、皮膚が冷えて、注射の痛みが和らぐのです。海外展開も視野に入れて、忍者のイメージキャラクターも作成しました。「ぷにゅ蔵くん」、好評発売中です！

(使用例)

イメージキャラクター

ぷにゅ蔵くん



「臨床グランプリ」で、当院の総合内科・

感染症科チームが優勝しました！

4月17日(月)～4月23日(日)に、難渋症例の診断にチームで挑戦する医師向けのオンラインイベント「Medii 臨床グランプリ」に当院の総合内科・感染症科チームとして、城田先生（リーダー）、藤田先生、丸山先生、貝田先生、前川先生、山本先生が参加しました。

Medii 臨床グランプリとは、3-7名からなるチームでエントリーし、エキスパート医師から出題される難渋症例に対しグループチャットを活用して、鑑別診断や追加の検査、その結果が出るまでの初期対応方針などをリアルに議論するというチーム対抗の臨床推論カンファレンス企画です。

エキスパート医師が各チームの回答内容を評価し、評価の高かったチームが表彰されます。

当て物ではなく、臨床でのリアルなロジカルシンキング、把握できる限りの臨床情報からこの時点でどのような初期対応をしていくのがよいのかがフォーカスされ見事、当院のチームが優勝を果たしました！



チームリーダーの城田先生からコメントをもらいました。

「Medii の主催する臨床推論のオンラインクイズ大会である臨床推論グランプリで、優勝しました。若手10年目までの総合内科スタッフでチームを組み、チャット上で提示された症例について話し合い知恵を出し合って、3症例全問正しい診断に辿り着くことができました。今後とも普段出会わないような難症例も診断できるよう、日々勉強していこうと思います。」

遺伝カウンセラーのお仕事

遺伝センター／腫瘍内科 遺伝カウンセラー 大道 納菜子、高瀬 紗矢香

みなさんは「遺伝カウンセラー」という職業をご存じですか。日本で初めて遺伝カウンセラーが誕生したのは2005年のことで、医師や看護師に比べるとまだまだ多くはありませんが、2023年4月現在、約350名の遺伝カウンセラーが認定されています。遺伝カウンセラーは何をする仕事なのか、それを説明するには、先に「遺伝子」の話をする必要があります。「遺伝子」は体を作る設計図の役割を果たしており、父親と母親から1つずつ受け継ぎます。みんな「遺伝子」を持っていますが、「遺伝子」にはひとりひとり少しの違いがあることが知られています。多くの違いはその人らしさや個性と関係がありますが、なかには“病気のなりやすさ”に関係する違いもあります。そうした遺伝に関わる体質や病気をもつ患者さんやご家族を支援するのが、遺伝カウンセラーの仕事です。

次の場面を思い浮かべてみてください。あなたは健康診断で異常が見つかり、病院へ受診をしたところがんが見つかったとします。がんと診断された場面ではとても混乱するかもしれませんし、今後の治療や体調がどう変化してくのか心配になるかもしれません。それに加えて、医師から「もしかすると、あなたのがんは遺伝性かもしれません。お子さんへの影響も考えていく必要があります。」と言われたらどうでしょう。まず何から考え行動していきますか？。私たちは、そうした場面で患者さんやご家族に対し、遺伝に関わる病気や検査について、医学的根拠に基づいた情報を提供し、患者さんやご家族一人ひとりの健康管理や治療選択のためのポイントを整理し、心配なことや困っていることについてどうすれば解決できるのか一緒に考え、患者さんにご家族が納得して今後を選択していけるようサポートします。

当院では、遺伝カウンセラーだけでなく、遺伝性疾患を扱う医師、看護師等のメディカルスタッフで、チーム一丸となって遺伝に関わる体質や病気へ幅広く対応しています。

当院の遺伝カウンセリング ここがすごい！



遺伝性腫瘍への対応がすごい

腫瘍の専門医と遺伝の専門医がタッグを組んで遺伝センターを運営しています
サーベイランスやリスク低減手術への対応も行っています



NIPTの基幹施設に認定されている

妊婦さんから採取された血液中の胎児DNA断片を用いて
赤ちゃんの染色体の病気について調べる検査（NIPT）を提供しています



幅広い遺伝性疾患に対応している

遺伝性腫瘍に限らず、幅広い遺伝性疾患に対応しています



遺伝に関わる病気と聞くと、あまり自分とは関係ないと感じる方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、誰しもが十数個の病気に関わる遺伝子の変化を持っていることが分かっており、決して珍しいものではありません。また、近年、そうした遺伝的な体質を医療に役立てるオーダーメイド医療（遺伝医療）が多く行われるようになってきています。遺伝学的検査をするとき、家族が遺伝の病気だと言われたときなど、お気軽にお問合せいただければと思います。当院ホームページ内の「遺伝センター」には、より詳細な情報がございますので、是非ご覧ください。

外来日と費用

曜 日：毎週金曜日

費 用：相談内容に応じて保険診療または保険外（自費）診療となります
保険外（自費）診療の場合は、以下のとおりです

- 01 初回60分 6,600円（消費税込み）
- 02 2回目以降30分 3,300円（消費税込み）

※検査や他科受診の場合は別途料金が必要です。検査費用は遺伝カウンセリングの中でご案内します。

当日お持ちいただくもの

- 健康保険証
- 紹介状

予約方法

遺伝カウンセリング外来の受診は、ご予約が必ず必要です。

すでに病院にかかっている方は主治医を通してFAXにてご予約ください。ご予約時には、FAX予約申込書と診療情報提供書が必要です。

かかりつけ医療機関がない方（血縁者診断をお考えの方）は、直接以下の担当者にご連絡ください。血縁者診断には、ご家族の遺伝学的検査結果のコピーが必要です。

病院代表：078-302-4321（受付：平日9:00-17:00）

担 当：浦川、大道、高淵（遺伝カウンセラー）



遺伝カウンセリング外来の面談室(南館2階)

～患者教室のお知らせ～

当院では地域の皆さまを対象に、当院の医師・看護師等による各種教室を開催しております。
ご興味のある方どなたでもご参加下さい。

開催場所： 本館 1 階講堂 （ファミリーマート前）

患者教室の詳細（HP）



- *新型コロナウイルスの感染拡大状況により急遽予定が変更になる場合がありますのでご注意下さい。
- *マスク着用でのご参加をお願いいたします。
- *体調不良の方のご参加はご遠慮ください。
- *費用は無料です。
- *直接会場にお越しください。



○糖尿病教室

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師・
歯科衛生士による糖尿病に関する話をします。

糖尿病に関心のある市民の皆さま是非ご参加ください。

内 容	開催日	時間
●いまこそ知りたい合併症 ●薬の話あれこれ ●何をどれくらい食べたらいいの？ ●自己血糖測定	10月4日(水)	13：30～14：30
どなたでも出入り自由のイベントを開催！	11月1日(水)	13：30～14：30
●糖尿病治療薬の種類と注意点 ●日常生活の注意点 ●おやつとお酒の誘惑 ●一緒に体を動かしましょう（有酸素運動編）	12月6日(水)	13：30～14：30
●糖尿病について知ろう ●低血糖ってなに？ ●外食・中食も工夫しだい！ ●楽しく知ろう検査項目 ●あなたのお口は大丈夫？	令和6年 2月7日(水)	13：30～14：30
●糖尿病の検査と治療 ●血管を診よう ●話題の食事療法について」 ●最近自分の足を見えていますか？ ●一緒に体を動かしましょう（レジスタンス運動編）	令和6年 3月6日(水)	13：30～14：30

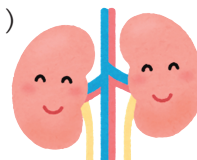
○腎臓病教室時間

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士等による腎臓病に関する話をいたします。

内 容	開催日	時間
腎臓病（初期）～軽度蛋白尿があるとき～	10月6日(金)	13：30～15：00
腎臓病（保存期）～GFR が下がり はじめたら～	11月10日(金)	13：30～15：00
腎臓病（末期）～腎代替療法～	令和6年2月2日(金)	13：30～15：00

問い合わせ：神戸市立医療センター中央市民病院栄養管理部（代表番号302-4321）

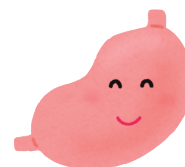
※栄養管理部宛てにお問い合わせください



○消化器病教室

消化器全般に対する正しい知識を持つことで、より健康な生活を送っていただくために、我々と一緒に勉強しましょう。興味のある方は、どなたでもご参加ください。

内 容	開催日	時間
大腸癌について –便検査で陽性が出れば–	9月14日(木)	14：00～16：00
胃癌について –ピロリ菌は除菌しましょう–	11月9日(木)	14：00～16：00
食道癌の集学的治療 –飲み込みにくい時は要注意–	令和6年1月11日(木)	14：00～16：00
脂肪肝と NASH –脂肪肝も怖い病気です–	令和6年3月14日(木)	14：00～16：00



○らくらく呼吸教室

医師・理学療法士と一緒に学びませんか？

「家でどんなふうに運動すればいいの？」「良いサポートの仕方はあるの？」スタッフが皆さんからの質問にお答えします。

開 催 日：毎月 第一木曜日

開催時間：13時

詳細は下記 HP よりご確認ください。



当院は創設100周年を迎えます

当院は、おかげさまで2024年3月に創設100年という大きな節目を迎えます。

これに伴い、今年6月に「100周年記念ロゴ・キャッチコピー」公募企画を院内で実施しました。

院内投票の結果、「創業100周年記念ロゴ・キャッチコピー」が決定しました。



100年の絆で紡ぐ信頼の医療

ロゴマーク・キャッチコピー制作者 コメント

「当院に親しみのあるシンボルマークを使用して創立100周年をデザイン致しました。100年という長い歴史の軌跡において、人と人の絆で紡いだエビデンスに基づく、信頼の医療という意味を込めてキャッチコピーとさせて頂きました。

これからも市民のみなさんに寄り添い笑顔で効率的に質の高い医療を提供できれば幸いです。」

また、100周年に伴い、ホームページに100周年記念のページを間もなく公開する予定です。

11月頃に、100周年記念動画がWEBサイトに公開されますので、是非ご覧ください。

入院される方、ご家族様へ

入院セットを販売しております。入院セットとは入院生活に必要な日用品をセットにして、レンタルできるサービスです。

「慣れない環境で少しでも楽に、安心して生活ができるように」ご提供しています。

●タオルセット

1日あたり390円（税込み429円）×契約日数

※定期交換以外に汚染時なども交換可能

【セット内容】

◆バスタオル ◆フェイスタオル

◆日用品類

※週2回（平日のみ）

専任スタッフより定期配付あり

タオルセットをお申込みのお客様は、
下記日用品類をお使いいただけます

◆ボックスティッシュ ◆フタ付きコップ
◆リンスインシャンプー ◆ボディソープ
◆歯磨き粉 ◆歯ブラシ



お申込みご希望の方は **2階入院セット受付** までお越しください。 **営業時間**：平日 8 時30分から16時00分まで
2階正面玄関から直進し、カフェ手前の待合ソファの一角にございます。

ファミリーマートからお知らせ

レジの混雑緩和のため、セルフレジ1台が導入されました。

緑のセルフレジ専用レーンより、直接ご利用いただけます。

決済方法：電子マネー、バーコード決済、クレジット、ファミペイ、ポイント（全額のみ）

※現金や院内 IC、紙クーポン、割引・引換券、ギフト券、商品券、クオカードはご利用いただけませんのでご注意ください。

※バーコードがない商品や、フライヤー、カウンターコーヒー、切手、はがき、レターパック、カウンターコーヒー、チャージなどは対応不可

ご利用可能な決済方法

電子マネー	クレジットその他	バーコード決済
Tマネー	ファミマTカードクレジット	d払い
交通系マネー	JCB	LINE Pay
楽天Edy	VISA	PayPay
WAON	MasterCard	楽天ペイ
iD(ファミマTカードiD含む)	AmericanExpress	Alipay
QUICPay	Diners	WeChat Pay
PiTaPa(取扱店のみ)	JCBプレモ	au PAY
	銀聯クレジット	J-CoinPay
ポイント	新韓カード	ゆうちょPay
Tポイント	DISCOVER	メルペイ
dポイント	FamiPay	pring
楽天ポイント	FamiPay	



病院内施設のご案内

本館3階の西病棟(小児病棟)の「プレイルーム」「学習室」「処置室」がIKEA様より家具のご寄付をいただき綺麗に可愛くプランニングしていただきました。



★ プレイルーム ★

安全面に配慮した遊び場になりました！

床にものが散らばって、つまずいて転倒しないように、収納スペースが増えておもちゃをしまいやすくなりました。ダーツや、お絵かきレゴテーブルが子供たちに大人気です。

プレイルームからテラスガーデンに出ると、子ども用ピクニックテーブルとパラソルがあり、アウトドアを体験できます。

★ 処置室 ★

診察台にはぬいぐるみを置き、横になっている子供に見えるよう、天井からモビールを吊っています。

モビールがクルクル回ったり揺れたりすると、子供たちが目で追っています。

診療中もお子様楽しく過ごせる場所にコーディネートしていただきました！



★ 学習室 ★

黄色の椅子とグレーの机・可愛いベンチを置いた西洋風のオシャレなお部屋になりました。

電動昇降デスクなので、子供も大人も使いやすいです。

壁に沿ったベンチでは座って学習や、絵本などをゆっくり読んでもらえる空間となりました。



『IKEA 神戸の IKEA Family 子ども募金による寄贈』

※ IKEA ではお会計時にお客さまに IKEA Family カードをご呈示いただくごとに、イケア・ジャパンが10円を子どもたちのために積み立てます。この積立金をもとに、イケアストア周辺の子どもたちの成長を支える施設を対象として、イケアの商品を寄付しています。

寄付のお願い

当院はこれからも地域の皆様へより良質で安全な医療を提供していきたいと考えています。皆様には寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡にかかわらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。

神戸市立医療センター中央市民病院
病院長 木原 康 樹

寄付をいただいた皆様 (令和5年4月～令和5年7月)

多くの励みしやご支援をありがとうございました。

寄付をいただきました方のお名前を、感謝の気持ちとともにここに掲載させていただきます（順不同掲載）。

小 川 泰 子 様
西 靖 代 様
白 髭 文 代 様
林 国 勝 様
西 澤 眞佐栄 様

春 名 智子・広樹・実里 様
眞 鍋 淑 子 様
柏 原 玲 子 様
諸 田 勝 保 様
株式会社極東エンタープライズ 様

日清鋼業株式会社 様
株式会社 慶
代表取締役 森岡光津子 様
株式会社ジャヴァ
代表取締役 細川かおる 様

インターネットでのお申込みが可能になりました

インターネットでお申し込みの場合は、決済方法をクレジットカードまたは銀行振り込みいずれかでお選びいただけます。詳しくは当院ホームページまたは下記 QR コードよりご確認ください。

寄付受納書の発行について

寄付受納書は、口座への入金を確認後に発行させていただきます。クレジットカード決済をお申込みの場合、クレジットカード会社から当機構への入金を確認した日付以降となり、通常2～3か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

ご利用いただけるクレジットカード

以下のマークがついているクレジットカードでお支払いいただけます。

VISA、MASTER、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club



※お支払い回数は、1回払いのみとなります。

※決済後のご変更・ご返金等は原則としてできません。



インターネットでの寄付申込みが可能になりました
申込みのイメージ

お問合せ

神戸市立医療センター中央市民病院 事務局経営企画課

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目1番地の1

連絡先： 078-302-4321（電話） 078-302-7537（FAX）

E-mail kifu@kcho.jp



◀ヘパフィルター



◀外来用の椅子



◀小児病棟のおもちゃ

寄付で購入いたしました

かかりつけ医を持ちましょう

■ 中央市民病院の役割は？

中央市民病院は、地域の診療所や病院から紹介された急性期（病気やけがの発症から症状が安定するまでの期間）の患者さんや救急搬送された患者さんに対する治療や、高度医療による専門的な治療を担当する急性期病院です。神戸市の基幹病院として、急性期医療を必要とする患者さんが一人でも多くの治療を受けられるように努めています。

■ 急性期の治療が終了したら

当院での急性期治療が終了して状態が安定されましたら、今後の治療や経過観察、お薬の処方などをお近くの医療機関（かかりつけ医）で受けていただくように主治医からお話をさせていただきます。当院でのこれまでの治療経過や処方内容など、主治医が診療情報提供書を作成し、検査データなどを添えて引継ぎをいたします。

■ かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医とは、健康に関することや緊急時の対応など何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる、身近にいて頼りになる医師のことです。ホームドクターとも呼ばれ、日頃の診療や検査、お薬の処方などを行います。

地域の医療機関への紹介後は、かかりつけ医が患者さんの治療やお薬の処方を担当いたします。入院や高度な治療が必要と判断された場合は、かかりつけ医が紹介状を作成し、当院を含め適切な医療機関を紹介してくれます。

また、かかりつけ医への紹介後も、当院での経過観察が必要な患者さんにつきましては、かかりつけ医と連携して当院でも定期的に診察いたします。

■ かかりつけ医を紹介いたします

かかりつけ医をお持ちでない患者さんには、患者サポートセンターで看護師がお住いの近くにある医療機関を探すお手伝いをいたします。

このほかに患者サポートセンターでは、ご自宅での療養や介護保険サービスの利用、医療費のご相談等にも対応しています。また、入院中の患者さんの退院後の生活などについてのご心配ごとには、各病棟の退院支援担当者に対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

